

## 宮城文化服装専門学校 2025年度事業報告書

### I. 法人の概要

#### 1. 設置する学校：宮城文化服装専門学校

- 学科：(1) 昼間部（2年） ①服装科 ②ファッションビジネス科  
③ファッションデザイン科  
(2) 昼間部（1年） ①ファッションスペシャリスト科  
(3) 夜間部（2年） ①二部服装科（募集停止）  
(4) 夜間部（3年） ①ファッション技術専攻科（募集停止）

※2025年度、夜間部の募集を停止

#### 2. 宮城文化服装専門学校 入学定員・学生数の状況

##### 1. 入学定員、学生数の状況（2026年5月1日現在）

課程	学科	定員	推移	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2026年度	
昼間部	服装科	15	入学 1年	20	13	10	14	5	14	15	昼間部	
	Fビジネス科	15		6	13	16	12	8	12	16		1年生合計
	Fデザイン科	10		11	13	14	17	8	19	15		
	スタイリスト科	10		5	6	/	/	/	/	/	2年生合計	
	Fスペシャリスト	10		0	6	13	10	4	4	3		36名
	<b>合計</b>			<b>42</b>	<b>51</b>	<b>53</b>	<b>53</b>	<b>25</b>	<b>49</b>	<b>49</b>	3年生合計	
	服装科	15	在籍 2年	12	21	11	8	10	3	11	3名	
	Fビジネス科	15		7	5	8	12	5	4	8	合計85名	
	Fデザイン科	10		8	9	14	14	14	6	17		
	スタイリスト科	10		2	5	5	/	/	/	/		
	<b>合計</b>			<b>29</b>	<b>40</b>	<b>38</b>	<b>34</b>	<b>29</b>	<b>13</b>	<b>36</b>		
	服装科	15	卒業	5	12	19	10	8	10	3		
	Fビジネス科	15		9	5	4	7	11	5	4		
	Fデザイン科	10		0	6	8	12	10	12	6		
	スタイリスト科	10		1	2	5	13	/	/	/		
Fスペシャリスト	0	0		0	6	3	8	3	4			
<b>合計</b>			<b>15</b>	<b>25</b>	<b>42</b>	<b>45</b>	<b>37</b>	<b>30</b>	<b>17</b>			
夜間部 (募集停止)	二部服装科	20	入学	2	5	7	4	/	/	/		
	F技術専攻科	10		1	4	1	2	2	/	/		
	<b>合計</b>			<b>3</b>	<b>9</b>	<b>8</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	/	/		
	二部服装科	20	在籍	5	2	4	6	2	/	/		
	F技術専攻科	10		/	/	/	/	/	/	/		
	<b>合計</b>			<b>5</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	/	/		
	二部服装科	20	卒業	5	6	1	1	5	/	/		
F技術専攻科	10	1		1	3	5	2	/	/			
<b>合計</b>			<b>6</b>	<b>7</b>	<b>4</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	/	/			

## 2. 教職員の状況（2026年5月1日現在）

(2)	役職区分	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		2026年度	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
教 職 員	校長	1		1		1		1		1		1		1	
	副校長	1		1		1		1		1					
	教員	4	12	4	12	5	10	5	10	5	10	4	10	5	10
	法人職員・助手														
	事務職	3		4		4		4		3		2		2	
	小計	9	12	10	12	11	10	11	10	10	10	7	10	8	10
	合計	21		22		21		21		20		17		18	

## II. 2025年度事業の概要

### 1. 2025年度事業計画に対する実施状況

#### (1) 仙台ヘアメイク専門学校との連携

①協同できる事業等は可能な限り協同し、学校法人守末学園としての評価を高めていく  
⇒入学式、卒業式の合同開催。広報活動における連携の実施。

②学校行事、授業、広報活動等共催できることは、相互に協力していくことにより、効率性を高めていく  
⇒①と同様

③その他収益事業に関する一切（小売業）  
⇒滞りなく実施

#### (2) 企業実習・企業連携の強化

⇒株式会社ワールドストアパートナーズとの連携による企業実習の実施  
ブックオフコーポレーション株式会社との連携によるコーディネート展示  
・ファッションショーの実施。

(3) 卒業制作発表における縫製工場をはじめとする企業による技術の指導の取り入れの継続  
⇒校内にて卒業作品プレゼンテーションを実施  
卒業生や縫製工場技術者を招き、批評を依頼

(4) 寄付行為に定める人材育成を目的とする事業に関する一切  
⇒滞りなく実施

### 2. 財政計画（投資と抑制）

(1) 最低限の設備投資及び大幅な経費の削減  
⇒実施

(2) 非常勤講師の授業時間を減少  
⇒学生数増加に伴い、非常勤講師の授業時間増加

(3) 令和8年度入学生に関しては令和7年度の人数を維持できるよう学生募集を実施  
⇒上記「1. 入学定員、学生数の状況（2026年5月1日現在）」参照

### 3. 施設設備整備

(1) 2学年学生数の減少に伴い、設備備品購入は最小限に留める

2 0 2 5 年 度	No	事業の 種類	数量 等	予算額 (単位:円)	決算額 (単位:円)	資金 源泉	摘要
	1	修繕費	総額	1,500,000	76,573	自己	
	2	設備費	総額	100,000	0	自己	
	3	広報費	総額	5,000,000	7,260,075	自己	進学ガイダンス・ホーム ページ更新等

### 4. 修繕

(1) 教育上必要な機材（ミシン・アイロン等）の修繕を行う

⇒実施（「3. 施設設備整備」参照）

### 5. 学生募集活動

(1) 募集定員維持を目標として効率よく効果的に広報活動を実施

⇒仙台へアメイク専門学校と連携し広報活動を実施。

(2) 令和7年度の新入生は、昼間部45名、進学者数4名

⇒令和8年度入学生46名、進学者3名

(3) 仙台へアメイク専門学校との統合による連携の機会を活かし、入学検討者に広く告知を行う

⇒（1）と同様

(4) 進学ガイダンス及び高校訪問等の広報活動の継続

⇒（1）と同様。広報人員減少により進学ガイダンス及び高校訪問の頻度が減少

(5) オープンキャンパスの内容を精査し、高校生の満足度及び理解度の向上を図る

⇒授業見学を実施。

(6) SNS、ホームページ等の情報発信の強化

⇒インスタグラム・Xの更新頻度を増加。

(7) 夜間部に関しては募集停止となる

(8) ファッションスペシャリスト科への進学案内の強化

⇒2学年卒業生の数が13名と少ない中、3名の進学者を獲得。

### 6. 教職員研修

(1) 学内での研修会を行うと同時に、外部の教員研修会等に参加

⇒宮城県専修学校各種学校連合会主催による研修への参加

### 7. 奨学金

(1) 公的奨学金、民間の奨学金、新型コロナウイルス関連の助成金等の手続きに関して  
学生を支援する

⇒実施

8. 2025年度 行事報告

⇒ (1) 別紙資料のとおり

9. 2025年度 就職状況報告

⇒ (1) 別紙資料のとおり

10. 2025年度 検定試験受験状況報告

⇒ (1) 別紙資料のとおり

### Ⅲ. 財務概要

⇒ (1) 別紙資料のとおり